

「衣食住」常備 生きた機能

直後から受け入れ 長丁場 役立つ個室

600人滞在南三陸「観洋」



旅館・ホテルを避難所に活用する動きは中部各地でも増えている。ただ、ホテル観洋のまに長期滞在被災者受け入れる施設は少ない。岐阜県高山市市内の大手ホテル三社は四月、地価で極端に上がった市民や観光客、空室をなどで受け入れを協定を結んだ。最大で廿三人を想定、費用は市が負担。観光シーズンをホテルが

迎えるのは「観洋」ではなく「被災者」だった。宮城県南三陸町の「ホテル観洋」は東日本大震災の直後から、家々つた住民の受け入れ先となった。被災者が長期滞り、町の二次避難所に指定され、多いときで六百人が滞在、おかみのお阿部さん(仮名)は、衣食住を兼ね備えたホテルは災害時に役に立つ。もっと行政が活用してほしいと話す。



震災から間もない昨年3月下旬、ホテルのロビーでスタッフを集めて開かれたホテル観洋での避難所運営会議。宮城県南三陸町のホテル観洋で、被災者を受け入れるスタッフと避難所運営委員らが話し合っている。被災者を受け入れるホテルは、避難所として活用されている。観洋は、被災者を受け入れるだけでなく、避難所運営委員も兼ねている。被災者を受け入れるだけでなく、避難所運営委員も兼ねている。被災者を受け入れるだけでなく、避難所運営委員も兼ねている。

「もっと行政が活用を」

中部でも活用の動き 多くは短期限定 長期滞在課題に

満室でも宴会場やロビー部を立地するホテル三社。えたら多数いた。旅館屋が決まらない被災者に活用する。受け入れは、設備整った高層の緊急避難所。原則七日以内、必要で避難所指定した。これらは災害発生後、被災者を受け入れる。ただ、これは災害発生後、被災者を受け入れる。ただ、これは災害発生後、被災者を受け入れる。ただ、これは災害発生後、被災者を受け入れる。ただ、これは災害発生後、被災者を受け入れる。

の解消が課題となり取りかかると配る。コンサートや夜で時間がなかった事情。手芸教室などの催しが、観洋にも生じた。しを積極的に開催。子どもが走り回り、備品が壊れることもあった。ボランティアによる清掃も、観洋も実施し、人の輪を、ホテル側は被災者の心情をおもひにかかってきた。

今回は、20日に掲載します。

▶「備える！ 3・11から」が本に

本連載が「備える！ 3・11から」のタイトルで本になります。昨年5月の連載開始から今年6月までの掲載分を再構成し、ビジュアルでより読みやすくとまどめています。B5判、オールカラー、224頁、定価1600円(税込み)。発売は今年29日です。問い合わせは中日新聞出版部＝電052(221)1714＝へ。



近い将来、東海・東南海・南海の三連動地震が起きるといわれる中部地方。旅館・ホテルを災害直後の一次避難所に使う動きは進んでいるが、長期滞在となる二次避難所の指定は進んでいない。愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合の渡辺剛男理事長(左)に聞いた。(聞き手・相坂穂)

愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合

渡辺剛男・理事長に聞く

ホテルの役割——組合に聞く

食料・燃料の提供ルール必要

「三連動地震が起きた場合、旅館やホテルは二次避難所となるか。」「受け入れ能力はどれくらいあるか。」「実際に自治体との協定は。」「受け入れたのか。」「組合としては回答を保留している。災害が起きたとき、一般の被災者か、行方不明者を捜索する警察官のどちらを優先すべきか、組合では判断はつかない。各旅館の経営者に個別に考えてもらうしかない。」「自治体や警察と協定を結ぶために要望すること

「三連動地震が起きた場合に役立つ。」「受け入れ能力はどれくらいあるか。」「東日本大震災後の昨年三月下旬、観光庁の依頼で被災者の受け入れ可能施設を調べた。県内で加盟する五百社のうち百二十社が計七百九十三室、一千二百四十五人分を申し出ている。ただ、季節や予約状況にもよるので、この数字は流動的ではある。」

「その後、観光庁や愛知県から受け入れ協定締結の話はなく、進んでいない。」「一方で愛知県警から、災害時に全国から応援に来る警察官の宿泊受け入れの要請を受けた。シャワー、風呂と朝食、夕食付きで一人一泊七千八百円という条件。警察は一個中隊が百八十人で活動するので、なるべく

「旅館には料理人がいるが、野菜や肉がなければ食事は作れない。大浴場を沸かすには、相当のガスや重油が必要。災害時に、そうした供給が確保されるのか。公営の避難所や仮設施設に物資が優先支給され、旅館やホテルは自助努力で確保しろということなら、避難所にはなれない。被災者の急病への対応や、体調を見守る看護師の派遣なども含め、経営者が安心して受け入れられるルール作りを行政に急いでほしい。」